



きっずる一むだより

第 37 号

令和 5 年 11 月 10 日発行

社会福祉法人ゆうゆう

きっずる一む県庁別館

11 月になりモミジやイチョウの葉っぱが色づき、一段と秋が深まってきたことを感じます。子ども達にとっては戸外遊びやお散歩が気持ちの良い季節です。先日、歴史公園にお散歩に行きました。公園には芝生の急斜面があり、子ども達は四つん這いで登ったり、芝滑りに挑戦しました。全身を使った遊びを思いきり楽しみ、公園には子ども達の元気な笑い声が響き渡っていました。今後も天気の良い日は積極的に戸外遊びやお散歩を楽しみたいと思います。



型合わせ (立体タイプ)

A ちゃんの姿から見る発達

ここかな？



「型合わせ（立体タイプ）」は円柱、三角柱、立方体などの積み木を、同じ形の穴に入れて遊ぶ玩具です。

積み木を見たり触ったり、向きを変えたりしながら穴に入れようと何度もチャレンジしていた A ちゃん。穴に入れるのはまだ難しそうでしたが、積み木を目で見て繰り返し触ることで、“立体”の積み木の形を覚えていき穴に入れられるようになっていきます。

ぴったりとはまって穴に入れることができた時、A ちゃんがどのような表情を見せてくれるのか楽しみです。

A ちゃん(1 歳 3 か月)は立体タイプの型合わせに興味が出てきました。まずは円柱に挑戦。指先で積み木をしっかりと持ち、穴に入れようと一つずつ穴に合わせています。なかなか思うように入らず、時々悔しそうな表情を浮かべる A ちゃん。それでもすぐに諦めず、自分で入れようと頑張っていました。

形を“立体”として見れるようになることで、発達するのが空間認知能力です。空間認知能力が身につくことで生活の中では、机の上のコップを上手につかむ、段差に気が付いて躓かないように歩く、等といったことに繋がっていきます。

遊びの中から様々なことを学んでいる子どもたち。

そんな成長の姿を、近くでそっと見守っていきたいと思います。

まだきっずる一むに慣れていない子ども達は不安で泣いてしまうことがありますが、友達を心配してそばに行ったり、顔をのぞき込んだりと子どもたちなりに心配する姿が見られます。少し前まではその子も不安で泣いていましたが、今では心身ともに成長し、いつの間にか友達を心配してくれるようになりました。これまで周りの大人や友達からしてもらったことを今度は別の友達へ。その優しさに成長を感じると共に職員一同、ほっこりしました。

